



お盆は先祖に思いを馳せ、さらに 生きている家族の絆を確かめる 特別な行事



湯峰 貴之さん



私の家は、13日にお墓参りに行き、迎え火を焚いて15・16日には盆踊り行ったり、送り火をしたりします。お盆で一番大切にしているのは、家族や親戚がみんなで集まってお墓参りをする事。先祖の思い出話をしながら過ごす団らんが、私にとって幸せな時間です。

ご先祖様をお迎えする準備では、お墓や仏壇の掃除をして、きゅうりの馬やなすの牛、盆提灯を飾ります。子どもの頃は、盆花やススキ、花立て用の竹なども庭や河原から調達して、自分たちで手作りしていました。食事は精進料理に



ご先祖様のおかげで今ここにいる。 お盆はそれを実感する大切な日



松崎 正夫さん



私の家では、昭和55年に亡くなった父の遺志を受け継いで、毎年お盆を迎えています。お盆の準備は12日から始まり、お供えする花を準備します。そして13日には、お墓参りへ。この時には、必ずあらよねを持っていきます。お墓参りの後には、盆棚の飾り付けをします。お膳には、昔からハスの葉の上に素麺を三か所盛るんです。最近では里芋の葉で代用することが多いですが、小さい頃から見て育った習慣で、大切に受け継いでいます。14日は本来のお盆の日で、初盆(新盆)の家では、普通の飾り付けに加え

て、親戚などから贈られた提灯などが飾られます。昔はお金を納めた袋も下げられていましたね。そして、お盆の締めくくりは16日。昔は河(川)灌頂(かわかんじょう)※1と一緒に供えたものを川に流しました。

※1…水害から町を守り、水難者を供養するための伝統行事



8/30(土)
大町太鼓保存会
大町晦日盆踊り

大町で開かれる晦日盆踊りは、三春のお盆を締めくくると大切な行事。8月下旬頃に開催されることが多く、夏の終わりに感じさせる風情があります。地面に太鼓を置く「地太鼓」スタイルが特徴で、最後の打ち込み「ばか囃子」は見ものです。



8/24(日)
新町若連
新町盆踊り

八幡町と並び、かつて盛んに行われた歴史を持つ新町盆踊り。その伝統を未来へ受け継ぐため、子どもたちが太鼓の練習に励む姿は、地域の誇りとなっています。



8/15(金)
8/16(土)
三春
盆踊り

三春町最大の盆踊り。毎年15日、16日に行われ、多くの人が大町四つ角に集います。今年は15日は新町・中町、16日は八幡町・大町の順で太鼓を響かせます。